

募集定員のシーリングについて

将来の診療科ごとの医療の需要の明確化

現状と課題

- 現在、医師数は継続的に増加している一方、その増分は一部の診療科に集中しており、診療科ごとの労働時間には大きな差が存在している。
- 一方、現行では、診療科別の医師ニーズは不明確であり、医師は臨床研修了後に自主的に主たる診療科を選択している。
- また、新専門医制度においても診療科偏在の是正策は組み込まれていない。
- 医師が、将来の診療科別需要を見据えて適切に診療科選択ができる情報提供の仕組みが必要。



対応

- 医師需給分科会第2次中間とりまとめにおいては、「医師が、将来の診療科別の医療ニーズを見据え、適切に診療科を選択することで診療科偏在の是正につながるよう、人口動態や疾病構造の変化を考慮した診療科ごとに将来必要な医師数の見通しを、国全体・都道府県ごとに明確化し、国が情報提供すべきである。」

新専門医制度の採用数上限設定(シーリング)

(2018年度専攻医(1年目))

- 2018年度専攻医においては、日本専門医機構により、五大都市(東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、福岡県)について、各診療科(外科、産婦人科、病理、臨床検査および総合診療科以外)のシーリング数として過去5年間の採用数の平均が設定された。

(2019年度専攻医(2年目))

- 2019年度専攻医は、引き続き五都府県に2018年度と同様のシーリングを実施。ただし、2018年度専攻医が東京都に集中したことを受け、東京都のシーリング数を5%削減した。

(2020年度専攻医(3年目))

- 2020年度専攻医募集に向けては、厚生労働省が2018年度に発表した都道府県別診療科必要医師数および養成数を基に、各都道府県別診療科の必要医師数に達している診療科に対して、一定のシーリングをかけることを厚生労働省が日本専門医機構に提案し、日本専門医機構が作成したシーリング案が2019年5月14日医道審議会医師専門研修部会にて承認された。
- 上記のシーリング案について、都道府県の地域医療対策協議会において検討を行い、厚生労働大臣に意見を提出し、同年9月13日に厚生労働大臣から日本専門医機構に、必要な措置の実施を意見・要請した。
- それを踏まえ、日本専門医機構はシーリングの最終決定を行い、10月15日より専攻医の募集を開始した。

(2021年度専攻医(4年目))

- 日本専門医機構がシーリングを検討するための協議体を設置し、各学会や都道府県からのヒヤリング等を踏まえ検討がなされ、2020年3月27日の理事会において、2021年度のシーリング(案)が承認された。

日本専門医機構の 2021年度専攻医募集シーリング案

2021年度専攻医募集におけるシーリング(案)の基本的な考え方

1. 2020年度の専攻医募集においては、厚生労働省が公表した都道府県診療科別の必要医師数に基づいたシーリングを設定し、従来から計算方法を大きく変更したところであり、各学会の協力のもと、シーリングを遵守した採用が行われた。

2. 2021年度に向けては、日本専門医機構の「専門医養成数に関する検討協議会」において各学会と意見交換を行い検討をした結果、2021年度のシーリングについては、下記の考え方に基づき実施することとする。

○2021年度のシーリング数の計算方法については、

- ・2020年度の計算方法によるシーリングは、採用結果を踏まえると偏在是正対策として一定程度の効果があると考えられること
 - ・ただし、単年度のみの実施では、効果の評価に限界があること
 - ・頻回に制度を変更することで、現場の負担が大きくなること
- 等から、2020年度と同様の方法で実施する。

○計算にあたり、下記の数値を更新する。

- ・診療科別必要医師数については、2月13日の医師需給分科会において示された最新のものを使用する。
- ・過去の採用数を使用する箇所については、2020年の採用結果を反映する。

○その上で、激変緩和のための計算方法の変更や精神保健指定医に対する対応の追加等の変更を加える。

○要件を満たす地域枠医師等をシーリングの対象外にすること、医師少数区域に配慮した地域貢献率の計算を行うこと等、
昨年9月の厚生労働大臣からの意見・要請に基づく変更は、引き続き継続する。

3. 連携プログラムの連携先について、ブロック別に連携先を設定する制度の導入は、連携プログラムの作成に相当な労力がかかり、準備期間が必要なこと等から、2021年度募集では見送り、原則2022年度募集より導入することとする。

2021年度シーリング計算方法のまとめ①

シーリングの対象

- 「2018年医師数」が「2018年の必要医師数¹⁾」および「2024年の必要医師数²⁾」と同数あるいは上回る都道府県別診療科
- 例外として、外科・産婦人科³⁾、病理・臨床検査⁴⁾、救急・総合診療科⁵⁾の6診療科はシーリングの対象外とする

1,2)各診療科別勤務時間等（「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」結果を基に作成）及び医師需給分科会第3次中間取りまとめにおけるマクロ需要推計の推計値（需要ケース2）、DPCデータを用いた疾病別診療科別患者数シェア等を利用して算出 3)平成6年度と比較して平成28年度の医師数自体が減少しているなどの理由 4)専攻医が著しく少数である等の理由 5)今後の役割についてさらなる議論が必要とされている等の理由

シーリング数

「2018年～2020年の3年間の平均採用数」から
（「2018年～2020年の3年間の平均採用数」－「2024年の必要医師数を達成するための年間養成数」）×20% を除いた数とする

連携(地域研修)プログラム

- 上記のシーリング案による急激な変化によってもたらされる影響への配慮などの理由から、専攻医不足の都道府県との「連携（地域研修）プログラム」を追加可能。但し、連携プログラムの設定には、連携プログラムを除く2021年度募集プログラムの地域貢献率が原則20%以上が必須条件。
- 地域貢献率は次の式で計算する。
$$\frac{\Sigma(\text{各専攻医が「シーリング対象外の都道府県」および「当該都道府県の医師少数区域」で研修を実施している期間})}{\Sigma(\text{各専攻医における専門研修プログラムの総研修期間})}$$

定義

- **連携（地域研修）プログラム**
シーリング対象外の都道府県の施設において1年6ヵ月以上の専門研修を行える環境が整った場合、募集可能とする。
ただし、都道府県限定分に関しては、以下の条件が整った場合のみ募集可能とする
- **連携（地域研修）プログラムのうち都道府県限定分**
2016年または2018年の足下充足率（＝足下医師数/必要医師数）が0.8以下であり、医師不足が顕著である都道府県の施設において1年6ヵ月以上の専門研修を行える環境が整った場合、募集可能とする

計算方法

- 「2018年～2020年の3年間の平均採用数」－「2024年の必要医師数を達成するための年間養成数」に対して、診療科ごとの「専攻医充足率」に応じて以下の割合を乗じた数とする

専攻医充足率 \leq 100%の場合：	20%	(内科・整形外科・脳神経外科)
100% $<$ 専攻医充足率 \leq 150%の場合：	15%	(眼科・耳鼻科・泌尿器科・リハビリテーション科)
150% \leq 専攻医充足率の場合：	10%	(小児科・皮膚科・精神科・放射線科・麻酔科・形成外科)
- 上記のうち都道府県限定分を**5%分**とする

2021年度シーリング計算方法のまとめ②

採用数が少数の県に対する例外

- 2018年～2020年の採用数のいずれかが10未満である都道府県別診療科のシーリング数を、2018年～2020年の採用数のうち最も大きい数とする。
- シーリング数が5以下の都道府県別診療科は、シーリングの対象外とする。

シーリング数の下限

- シーリング数合計(通常+連携)の下限を、2020年の95%とし、95%満たない数を連携プログラム(都道府県限定分)として追加する。

地域枠医師等

- 医師少数区域等への従事要件および都道府県からの奨学金の貸与があり、地域医療対策協議会で認められた地域枠医師および自治医科大学出身医師はシーリングの枠外での採用を可能とする。

精神保健指定医連携枠

- 精神科について、指定医連携枠を設け、シーリング数の合計が2020年のシーリング数(通常+連携)と同数になるように追加する。
- 指定医連携枠で採用を行う場合の要件は下記の通りとする
 - ・ 指定医が相対的に少ない下位1/3の都道府県※と連携を組み、研修期間の半分(1年6ヵ月)を当該都道府県で研修を行うこと。
 - ・ 専攻医が研修を行う連携先の都道府県に、1年6ヵ月以上の期間、基幹施設から常勤の指導医を新たに1名以上派遣すること。
- 精神科専門医の更新要件として、指定医業務の実績をいれ、指定医業務を行っていない者の更新要件を厳しくすることを前提とする。

※ 日本精神神経学会が算出した業務換算指定医数に基づき、下記の都道府県とする。
青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、千葉県、福井県、長野県、静岡県、滋賀県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、徳島県、長崎県

令和3年度募集定員のシーリング対象となる診療科

・シーリングの対象とする各都道府県の診療科は、2018年医師数(仕事量)(A)が、必要医師数(勤務時間調整後)(B)および2024年の必要医師数(勤務時間補正後)(C)と同数あるいは上回る診療科。

※外科、産婦人科、病理診断科、臨床検査、救急、総合診療はシーリング対象外

・シーリング数(F)は、「過去3年採用数平均」(D)から、「2024年の必要医師数を達成するための年間養成数」と「過去3年採用数平均」の差分(E-D)の一定割合(20%)を引いた数(D-(E-D)×20%)

但し、過去3年の採用数のいずれかが10未満の診療科は、シーリング数を過去3年の採用数の大きい方。また、5以下の場合、シーリング対象外。

	2018		2024	過去3年 採用数 平均 D	2020	2019	2018	2024年の 必要医師数を 達成するため の年間養成数 E	2021	2021
	医師数 (仕事量) A	必要医師数 (勤務時間 調整後) B	必要医師数 (勤務時間 調整後) C		専攻医 採用数	専攻医 採用数	専攻医 採用数		シーリ ング数 F	シーリ ング数 (調整後) G
内科	1,120	1,264	1,329	31	32	33	28	54		
小児科	235	231	208	7	6	7	7	1	7	7
皮膚科	79	98	98	3	3	4	2	4		
精神科	133	167	165	5	6	4	4	7		
整形外科	215	234	246	6	9	5	3	10		
眼科	126	132	135	3	4	3	2	4		
耳鼻咽喉科	108	101	100	3	3	3	4	1	4	
泌尿器科	93	88	92	5	5	3	6	2	6	6
脳神経外科	75	89	95	1	1	2	0	5		
放射線科	92	78	78	2	1	3	3	0	3	
麻酔科	101	111	112	4	1	7	5	4		
形成外科	31	40	42	0	0	0	0	2		
リハビリテーション科	24	27	28	0	0	0	0	1		

滋賀県は、**小児科、泌尿器科**がシーリング対象。

令和3年度の専攻医募集定員(予定)

診療科 基幹施設名	診療科																		基幹施設 合計
	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	救急科	形成外科	テーリハビリ リハビリ ョン科	総合診療	
滋賀医科大学医学部附属病院	20	10	7	6	12	6	8	5	6	7	3	6	9	2	6	2	2	2	119
大津市民病院	4											1							5
大津赤十字病院	16	3			10	5	3					2		2					41
JCHO滋賀病院																		2	2
草津総合病院	3																		3
滋賀県立総合病院	4								4				1						9
済生会滋賀県病院	5					9									4				18
近江八幡市立総合医療センター	10					3				3			2						18
東近江総合医療センター	3																		3
彦根市立病院	3																		3
市立長浜病院	3																		3
高島市民病院																		2	2
大津ファミリークリニック																		2	2
弓削メディカルクリニック																		8	8
浅井東診療所																		4	4
診療科 合計	71	13	7	6	22	23	11	5	10	10	3	6	15	2	12	2	2	20	240
R3シーリング数		7								6									-

※本県に基幹施設の無い臨床検査は除く。
※募集定員のシーリング調整前

【新規基幹施設予定(R3~)】
滋賀医科大学医学部附属病院 形成外科

- ・「医師確保計画」では、国のガイドラインに基づき、産科と小児科は個別の計画を策定することとなっており、相対的に医師が多い地域でも医師確保が必要とされている。このことと整合を図るため、シーリングにより小児科医の確保に支障が出ることがないように、小児科についても産科と同様、シーリング対象外とすべき。【昨年度からの継続】
- ・本県は、京都大・京都府立医科大から多くの医師派遣を受けることで、医療提供体制を維持しており、京都府の専攻医採用にシーリングがかかることで、各医療機関の医師確保に多大な影響がある。シーリングの実施には、対象となる都道府県だけでなく、そこから医師が派遣される先の都道府県への影響も配慮願いたい。【昨年度からの継続】
- ・シーリング対象となった場合の定員調整の主体は関係領域学会とされているが、その調整手法等について必ずしも明確でないため、示していただきたい。
- ・都道府県が日本専門医機構のシーリング案の内容等について検証できるよう、シーリングに係る算定基礎データや改善効果等について、提供願いたい。

＜新型コロナウイルス感染症関連＞

・新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に対応した一定の配慮が必要ではないか。

例えば、新型コロナウイルス感染症対策にかかる医療需要が急増していることや長期化が想定されることに鑑み、地域医療提供体制を維持するため、少なくとも関係する診療科については、シーリングを当面の間実施しないこととしてはどうか。

・新型コロナウイルス感染症に係る医療需要は、必要医師数の算定に反映されていない。

このような予測不要な事態に係る医療需要についても一定の係数を乗じるなど定量的に算定し、少し余裕(のりしろ部分)を持って算定することも検討すべきではないか。

① 確認すべき事項

従来の学会認定制度において専攻医を養成していた医療機関が、専攻医の受入れを希望する場合は、連携施設となっているか。

② 現況

・従来の制度で専攻医を養成していた医療機関で、専攻医の受入れを希望している医療機関が連携施設になれていないとの情報はない。

③ 見解

・県内各圏域とも各診療科における連携施設は一定数配置されているため、専攻医の受入れを希望する医療機関は連携施設になれているものと思料される。

① 確認すべき事項

内科、小児科、精神科、外科、整形外科、産婦人科及び救急科については、都道府県ごとに複数の基幹施設が置かれているか。

② 現況

・精神科において基幹施設が滋賀医科大学医学部附属病院のみ。

③ 見解

・他に基幹施設となりうる医療機関がないため、やむを得ない。
・なお、平成29年度の滋賀県専門研修プログラム協議会において協議済み。

① 確認すべき事項

- (3) 各都道府県のキャリア形成プログラムの運用において、各診療科別の専門研修プログラム定員配置が適切なものであること。
- (4) 各研修プログラムが都道府県内の医師確保対策や偏在対策に資するものとなっていること。
 - ・各診療科別のプログラム毎の定員配置が医師少数区域などに配慮されていること。
 - ・各プログラムの連携施設が、各都道府県の偏在対策に資するものであること。

② 現況

- ・県の奨学金貸与医師等に適用される滋賀県キャリア形成プログラムでは、原則として、B群(大津・湖南圏域以外)で一定期間勤務することを義務づけている。(就業義務年限が9年間の場合、4年間)
- ・今回、専門研修プログラムを確認したところ、全ての診療科において、キャリア形成プログラムで定めるB群(大津・湖南圏域以外)の医療機関が連携施設に登録されており、A群(大津・湖南圏域)のみでローテーションが構成されている診療科はなかった。
- ・また、実際の勤務状況(ローテーション状況)においても、制度開始後3年目の今年度ではB群(大津・湖南圏域以外)での専攻医の勤務割合が増加している。なお、今年度は、ほぼ全ての診療科において3割程度の医師がB群(大津・湖南圏域以外)で勤務している。

③見解

・基幹施設単位や圏域単位で見ると、連携施設の配置が十分でなかったり、専攻医の数が依然として少数の圏域が見られるなど、一定の課題はある。

・しかし、全体としてみれば、キャリア形成プログラムと整合がとれているとともに、県内の医師確保・偏在対策に資するものであると思料される。

都道府県での確認事項 (5) 臨床研究医コースの設置

① 確認すべき事項

専門医の取得と併せて臨床研究に従事する医師を養成する臨床研究医コースをシーリングの枠外にて40名から設けること。

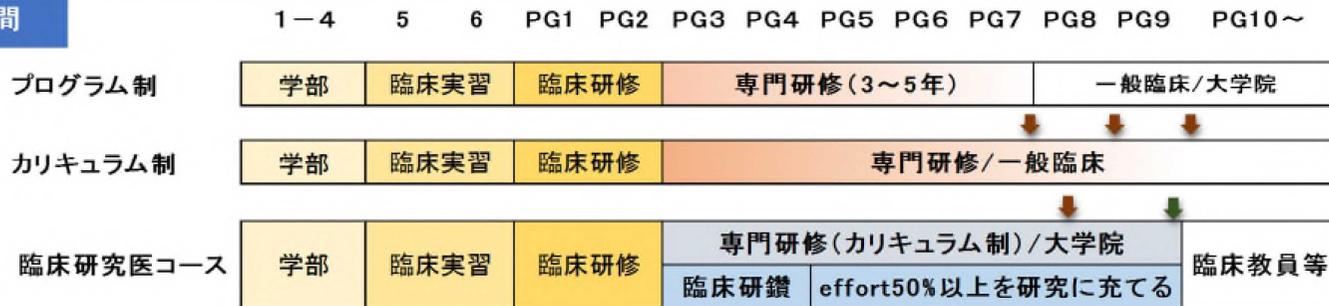


将来研究に従事する医師(臨床研究医)の養成

現状と課題

- 基礎医学領域の研究に関して、学部・臨床研修を通じて、いくつかの制度が進行中
- 臨床医学領域の研究に関して、専門研修後の大学院進学、アカデミアへの自発的就職に支えられているものの学会・専攻医ともインセンティブに乏しい
- 専門医の診療科偏在・地域偏在の議論では、就労時間のタイムスタディに基づくとされているが、研究力低下対策、医学教育の変革に関する視点に乏しい

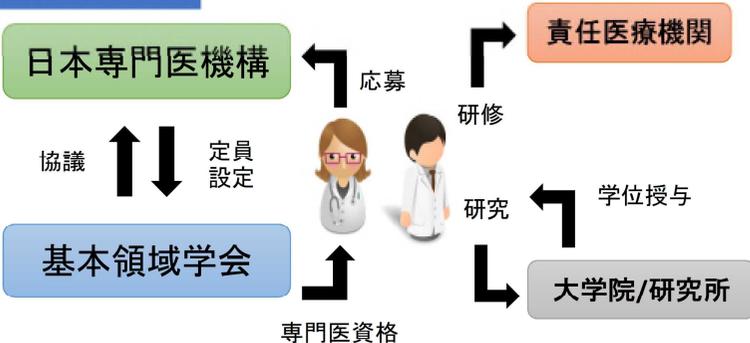
研修期間



PG: post graduate

↓ : 専門医資格取得
↓ : 学位取得

研修システム



ポイント

- 基本領域学会と協議し、機構が定員設定し、募集を行う
- 定員は各基本領域最低1名、それ以後は応募数に応じて配分
- 研修は責任医療機関で管理し、カリキュラム制で行う
- 研究は大学院あるいは研究所で行い、First authorとして、SCI論文2本以上(case reportは除く)
- 臨床研究医プログラムは在籍期間中、後半5年間はエフォートの50%以上を研究に充てる
- コース在籍中は、責任医療機関の給与規定によって身分が保証される
- 途中でコースの責務を果たせなかった場合には、所属責任医療機関の定員を減じる

令和2年7月17日
医道審議会
医師分科会
医師専門研修部会
資料



臨床研究医コースの募集と採用

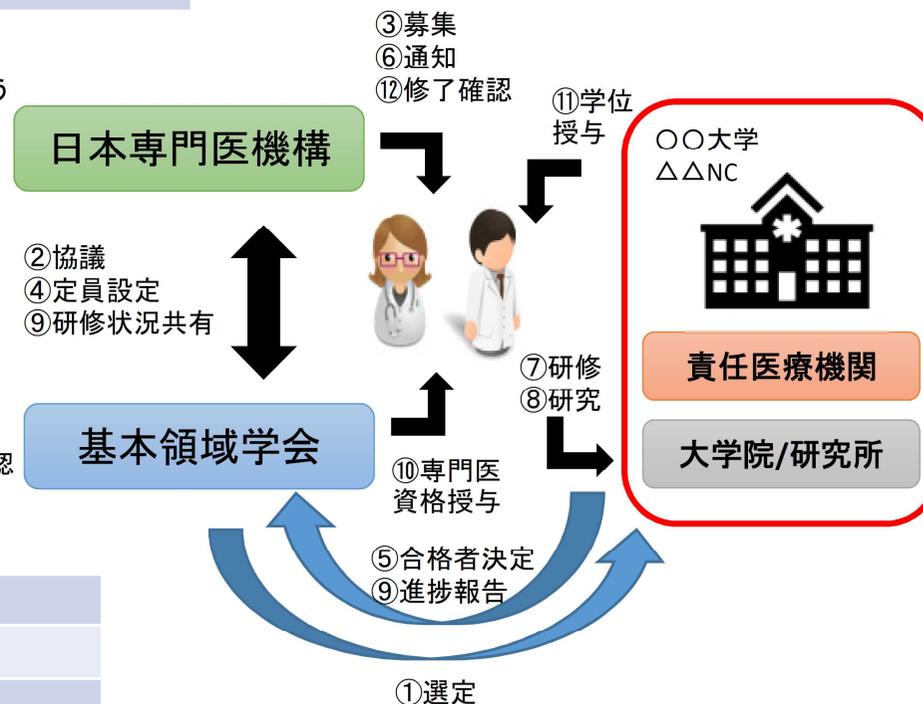
臨床研究医コースの概要

- 基本領域の専門医資格を取得後あるいは取得中に、大学院あるいは研究所に所属し、定められた一定期間医学研究に従事する
- 専門医資格取得のための研修は、責任医療機関で管理し、カリキュラム制で行う
- コースは全体で7年間とし、最初の2年間で臨床研鑽を行い、後半5年間はエフォートの50%以上を研究に充て、SCI (Science Citation Index) のついた英文雑誌においてFirst authorとして2本以上の論文発表を課す

臨床研究医コースの募集と採用の流れ

- 基本領域の窓口学会と機構が協議を行い定員を設定するが、募集は機構が行う
- 19基本領域に最低1名の定員を用意し、残りは応募者数に応じて配分する
- 初年度は40人からスタートし、経過を見ながら漸増

- ① 基本領域の窓口学会は、コース内容の検討と責任医療機関の選定を行う
- ② 機構と学会が協議を行い、機構がHPでコース内容(診療科・大学名)の案内を行う
- ③ 機構は、臨床研究医コースを希望する専攻医をHPで募集する
- ④ 機構は、応募者数に応じて、各基本領域に定員を割り振る
- ⑤ 責任医療機関で合格者を決定し、学会で調整のうえ機構に報告する
- ⑥ 機構から専攻医に対して、合否を連絡する
- ⑦ 合格した専攻医は、コースを設置した責任医療機関で研修を開始する
- ⑧ 2年間経過後、コース内容に応じて研究を開始する
- ⑨ 責任医療機関は基本領域学会コースの進捗状況を報告し、機構と共有する
- ⑩ 基本領域学会は、定めたカリキュラムを達成した場合に、専門医資格を授与する
- ⑪ 大学院進学の場合には、規定に従い大学院が学位を授与
- ⑫ 7年間のコース在籍、2本以上の英文論文をもって、機構が臨床研究医の修了確認



今後のスケジュール

8月	各基本領域の窓口学会と協議
9月上旬	専攻医に対して、臨床研究医コースの募集開始
9月下旬	日本専門医機構から採用結果を通知
10月	一般基本領域の募集開始

② 現況

- ・厚生労働省医道審議会医師専門研修部会では、一般的な日常診療のニーズを中心にして議論が行われており、医育機関や研究所での研究・教育に必要な人員について必ずしも十分な配慮がなされていない。
- ・臨床研修の法制化や、医療技術の高度化、新専門医制度導入による専門研修のプログラム制の開始、シーリングの実施等により、臨床経験を経て大学院または研究所へ進む医師が減少している。

③ 見解

- ・研究医の不足が将来の臨床研究・教育の発展に影響を及ぼし、ひいては地域医療の質にも一定程度影響がでてくると想定される。
- ・したがって、研究医の養成数を増やすための仕組みの創設には基本的に賛成する。
- ・ただし、研究医の都市部集中が予想されることや、40名の定員を漸増する場合の上限や適正数が明らかでないなどの課題がある。
- ・そのため、制度の実施に当たっては、地域医療における医師配置に影響を与えないよう十分配慮すべき。

①確認すべき事項

特定の地域や診療科にて従事する医師を確保する観点から、地域枠からの離脱を防ぐことを念頭に、日本専門医機構は専門研修システム登録時に地域枠医師本人の同意を取得した上で、地域枠離脱に関する意向を都道府県に確認すること。

令和2年7月17日 医道審議会 医師分科会 医師専門研修部会 資料

以下の点について、日本専門医機構等に意見することを念頭に、都道府県の意見を聴いてはどうか。

○今後、都道府県の同意を得ずに専門研修を開始した者については、原則、日本専門医機構の専門医の認定を行わないこととしてはどうか。認定する場合も、都道府県の上承を得ることを必須としてはどうか。

具体的には、下記のような対応を行うこととしてはどうか。

- ・専門研修システム登録時に本人の同意を取得した上で、地域枠離脱に関する都道府県の同意の有無について、専攻医募集時および研修開始後に日本専門医機構が都道府県に対して確認する。
- ・研修開始後に都道府県の同意を得ていないことが判明した場合は、専門研修中に従事要件を満たした研修を行うよう、プログラム統括責任者が指導し、ローテーションにおいても変更することを含め配慮するよう努める。

都道府県での確認事項 (6) 地域枠医師への対応について

2020年に専門研修に取り組む年次の地域枠医師の状況

		地域枠制度利用者 973 (100%)																										
		地域枠採用形式：別枠方式	その他の形式																									
<p>地域枠離脱者 15 (1.5%)</p> <p>内</p> <p>都道府県不同意離脱者 6 (奨学金を貸与した都道府県が離脱を認めていないケース)</p> <p>都道府県同意離脱者 9 (奨学金を貸与した都道府県が離脱を認めたケース)</p> <p>日本専門医機構への地域枠であるかの自己申告回答 (はい0、いいえ11、未登録4)</p>	<p>10 (1.0%)</p> <p>都道府県不同意離脱者 6</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>離脱した理由</th> <th>採用診療科 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県外施設希望 (4)</td> <td>外科、精神科、内科、形成外科</td> </tr> <tr> <td>不明 (1)</td> <td>泌尿器科</td> </tr> <tr> <td>一般企業への就職 (1)</td> <td>未登録</td> </tr> </tbody> </table> <p>日本専門医機構への地域枠であるかの自己申告回答 (はい0、いいえ5、未登録1)</p> <p>都道府県同意離脱者 4</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>離脱した理由</th> <th>採用診療科 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療科変更 県外 (1)</td> <td>眼科</td> </tr> <tr> <td>診療科変更 県内 (1)</td> <td>内科</td> </tr> <tr> <td>結婚・配偶者の他県同伴 (1)</td> <td>皮膚科</td> </tr> <tr> <td>海外留学 (1)</td> <td>未登録</td> </tr> </tbody> </table> <p>日本専門医機構への地域枠であるかの自己申告回答 (はい0、いいえ3、未登録1)</p>	離脱した理由	採用診療科 等	県外施設希望 (4)	外科、精神科、内科、形成外科	不明 (1)	泌尿器科	一般企業への就職 (1)	未登録	離脱した理由	採用診療科 等	診療科変更 県外 (1)	眼科	診療科変更 県内 (1)	内科	結婚・配偶者の他県同伴 (1)	皮膚科	海外留学 (1)	未登録	<p>5 (0.5%)</p> <p>都道府県不同意離脱者 0</p> <p>都道府県同意離脱者 5</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>離脱した理由</th> <th>採用診療科 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県外施設希望 (3)</td> <td>麻酔科、脳神経外科、形成外科</td> </tr> <tr> <td>家業を継ぐため (1)</td> <td>美容形成に従事</td> </tr> <tr> <td>自身の病気 (1)</td> <td>保健所に勤務</td> </tr> </tbody> </table> <p>日本専門医機構への地域枠であるかの自己申告回答 (はい0、いいえ3、未登録2)</p>	離脱した理由	採用診療科 等	県外施設希望 (3)	麻酔科、脳神経外科、形成外科	家業を継ぐため (1)	美容形成に従事	自身の病気 (1)	保健所に勤務
	離脱した理由	採用診療科 等																										
	県外施設希望 (4)	外科、精神科、内科、形成外科																										
	不明 (1)	泌尿器科																										
一般企業への就職 (1)	未登録																											
離脱した理由	採用診療科 等																											
診療科変更 県外 (1)	眼科																											
診療科変更 県内 (1)	内科																											
結婚・配偶者の他県同伴 (1)	皮膚科																											
海外留学 (1)	未登録																											
離脱した理由	採用診療科 等																											
県外施設希望 (3)	麻酔科、脳神経外科、形成外科																											
家業を継ぐため (1)	美容形成に従事																											
自身の病気 (1)	保健所に勤務																											
<p>地域枠非離脱者 958 (98.5%)</p>	<p><内訳></p> <p>従事要件内で研修中 (925) (95.1%)</p> <p>猶予期間中 (31)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従事要件を満たしながら従事圏外で研修中：制度の範囲内※1 (21) ・従事要件を満たさずに従事圏外で研修中：制度の範囲外※2 (10) <p>不明 (2)</p>																											
	<p>※1 医師免許取得後、貸与期間の5/2に相当する期間(15年間)を経過するまでに貸与期間の3/2に相当する期間(9年間)、知事が指定する都道府県内の特定公立病院において勤務することにより義務が免除される等。</p> <p>※2 都道府県が承諾の上、遅延扱い</p>																											

②現況

・本県の状況...

○滋賀県医学生修学資金(全国の医学生向け)

平成19年度～令和2年度までの貸与実績 66名(見込み)

→ うち、返還となった者 14名

(県外病院勤務10名、旧制度※における対象外診療科に従事3名、知事の指定する病院以外の県内病院勤務1名)

※平成25年度までの貸与者は、特定の診療科以外への従事は返還事由となっていた。現在、診療科制限は廃止。

○滋賀県医師養成奨学金(滋賀医科大学大学生向け)

平成21年度～令和2年度までの貸与実績 88名

→ うち、返還となった者 10名 (すべて県外病院勤務)

【離脱防止の取組】

・新規貸与時に制度説明を十分実施するとともに、実施卒業前や臨床研修修了前等に定期的に面談を実施。なお、今年度より、原則として全ての貸与者に対して毎年度面談を実施するように取組を強化。

・滋賀県医師養成奨学金については、今年度入学生より、滋賀医科大学において一般枠とは別の選抜枠を設け、その入学者に貸与する別枠方式に変更。

③見解

- ・地域枠医師の義務離脱を防止する取組を全国的に実施することについては、賛成する。
- ・ただし、まずは、義務離脱者の発生を防止するため、専門研修プログラム登録時や研修先(勤務先)医療機関の変更の際に、都道府県が地域枠医師の従事要件との整合性を確認できるようにするとともに、従事要件と整合しない専門研修プログラムに採用されない仕組みを創設すべき。
- ・義務離脱者へのペナルティとして専門医の認定を行わないことについては、訴訟に発展する可能性もあることから、法的な面も含め、慎重に検討を行うべき。

厚生労働大臣へ提出する意見(案)

<まとめ>

①日本専門医機構の令和3年度専攻医募集定員シーリング案に対する意見(その1)

- ・「医師確保計画」では、国のガイドラインに基づき、産科と小児科は個別の計画を策定することとなっており、相対的に医師が多い地域でも医師確保が必要とされている。このことと整合を図るため、シーリングにより小児科医の確保に支障が出ることがないように、小児科についても産科と同様、シーリング対象外とすべき。【昨年度からの継続】
- ・本県は、京都大・京都府立医科大から多くの医師派遣を受けることで、医療提供体制を維持しており、京都府の専攻医採用にシーリングがかかることで、各医療機関の医師確保に多大な影響がある。シーリングの実施には、対象となる都道府県だけでなく、そこから医師が派遣される先の都道府県への影響も配慮願いたい。【昨年度からの継続】
- ・シーリング対象となった場合の定員調整の主体は関係領域学会とされているが、その調整手法等について必ずしも明確でないため、示していただきたい。
- ・都道府県が日本専門医機構のシーリング案の内容等について検証できるよう、シーリングに係る算定基礎データや改善効果等について、提供願いたい。

①日本専門医機構の令和3年度専攻医募集定員シーリング案に対する意見(その2)

<新型コロナウイルス感染症関連>

・新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に対応した一定の配慮が必要ではないか。

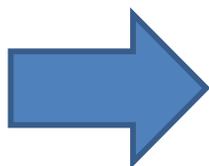
例えば、新型コロナウイルス感染症対策にかかる医療需要が急増していることや長期化が想定されることに鑑み、地域医療提供体制を維持するため、少なくとも関係する診療科については、シーリングを当面の間実施しないこととしてはどうか。

・新型コロナウイルス感染症に係る医療需要は、必要医師数の算定に反映されていない。

このような予測不要な事態に係る医療需要についても一定の係数を乗じるなど定量的に算定し、少し余裕(のりしろ部分)を持って算定することも検討すべきではないか。

②県の確認事項に対する意見(その1)

- (1)従来の学会認定制度において専攻医を養成していた医療機関が、専攻医の受入れを希望する場合は、連携施設となっているか。
- (2)内科、小児科、精神科、外科、整形外科、産婦人科及び救急科については、都道府県ごとに複数の基幹施設が置かれているか。
- (3)各都道府県のキャリア形成プログラムの運用において、各診療科別の専門研修プログラム定員配置が適切なものであること。
- (4)各研修プログラムが都道府県内の医師確保対策や偏在対策に資するものとなっていること。
 - ・各診療科別のプログラム毎の定員配置が医師少数区域などに配慮されていること。
 - ・各プログラムの連携施設が、各都道府県の偏在対策に資するものであること。



(1)から(4)まで全て「意見なし」

②県の確認事項に対する意見(その2)

(5) 専門医の取得と併せて臨床研究に従事する医師を養成する臨床研究医コースをシーリングの枠外にて40名から設けること。

- ・研究医の不足が将来の臨床研究・教育の発展に影響を及ぼし、ひいては地域医療の質にも一定程度影響がでてくると想定される。

- ・したがって、研究医の養成数を増やすための仕組みの創設には基本的に賛成する。

- ・ただし、研究医の都市部集中が予想されることや、40名の定員を漸増する場合の上限や適正数が明らかでないなどの課題がある。

- ・そのため、制度の実施に当たっては、地域医療における医師配置に影響を与えないよう十分配慮すべき。

②確認事項に対する意見(その3)

(6)特定の地域や診療科にて従事する医師を確保する観点から、地域枠からの離脱を防ぐことを念頭に、日本専門医機構は専門研修システム登録時に地域枠医師本人の同意を取得した上で、地域枠離脱に関する意向を都道府県に確認すること。

- ・地域枠医師の義務離脱を防止する取組を全国的に実施することについては、賛成する。
- ・ただし、まずは、義務離脱者の発生を防止するため、専門研修プログラム登録時や研修先(勤務先)医療機関の変更の際に、都道府県が地域枠医師の従事要件との整合性を確認できるようにするとともに、従事要件と整合しない専門研修プログラムに採用されない仕組みを創設すべき。
- ・義務離脱者へのペナルティとして専門医の認定を行わないことについては、訴訟に発展する可能性もあることから、法的な面も含め、慎重に検討を行うべき。

③日本専門医機構に対する意見

- ・従前から日本専門医機構に対して迅速かつ適切な情報提供を要望しているが、依然として情報が不十分であったり正確性を欠くものであるなど改善がみられないため、地域医療対策協議会の議論に必要な情報については県が独自調査を実施しているところ。
- ・また、昨年度の厚生労働大臣からの意見に対する日本専門医機構の回答において、「今後検討する」等とされていた事項について、その検討内容や結果を同機構に問い合わせても回答を得られない。
- ・都道府県の地域医療対策協議会における議論の前提となる情報については、厚生労働大臣の意見陳述に当たって都道府県知事への意見聴取を義務づけた医師法の趣旨を十分踏まえ、地域医療対策協議会において実のある議論ができるよう、必ず迅速かつ適切な情報提供を行うようにしていただきたい。**【昨年度からの継続】**

医師の専門研修制度について

【別冊】

- | | |
|--|--------|
| ①令和元年度に滋賀県および国が日本専門医機構等へ
提出した意見に対する同機構の回答および現在の対応状況 | … P1～ |
| ②令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧 | … P5～ |
| ③滋賀県医師キャリア形成プログラム | … P25～ |

令和元年度に滋賀県および国が日本専門医機構等へ提出した意見に対する同機構の回答および現在の対応状況

1. 医療供給体制の確保に重大な影響を与える可能性に関すること			
(1) 令和2年度開始の研修プログラムにおけるシーリングに関すること			
滋賀県からの意見	厚生労働大臣からの意見	日本専門医機構回答	現状の確認
—	特定の都道府県での勤務が義務づけられている専攻医に対する不利益が生じないように、医師少数区域などへの従事要件が課されており、地域医療対策協議会で認められた地域枠医師および自治医科大学出身医師はシーリングの枠外として、採用を可能とすること。	医師少数区域等に従事要件のある自治医大卒業生や地域枠医師については、各都道府県の医師確保対策上、既に計画に盛り込まれていること等を勘案すると、都道府県内の偏在をより悪化させないという立場から、シーリングの枠外とすることは、有用な対策であるため、各都道府県の地域医療対策協議会からの申請に基づき、シーリング対象外として取り扱うこととします。	令和2年度シーリングに反映済み。
—	過去の採用数が少なく、採用数の年次変動が大きい都道府県別診療科については、過去2年の採用数のいずれかが10未満である都道府県別診療科のシーリング数を、過去2年の採用数のうち大きい方とします。該当する都道府県別診療科については、必ずしも連携プログラムの設置を必須とはしませんが、すでに連携プログラムが組まれている場合は、そちらの採用を優先するように指導いたします。なお、必要医師数が足元医師数を上回っているということから、シーリングがかかった都道府県において、過去2年にわたって極めて少ない(5未満)県・診療科についても「5」というシーリングがかかりましたが、これは、診療科や県の意欲をそぐもののご意見をいただいております。シーリングをかけることが実態にそぐわないため、シーリングを外すことといたします。この点につきましては、今後の動向を見ながら必要とあれば、再考することも考慮してまいります。	この意見につきましては、賛同いたし、過去2年の採用数のいずれかが10未満である都道府県別診療科のシーリング数を、過去2年の採用数のうち大きい方といたします。該当する都道府県別診療科については、必ずしも連携プログラムの設置を必須とはしませんが、すでに連携プログラムが組まれている場合は、そちらの採用を優先するように指導いたします。なお、必要医師数が足元医師数を上回っているということから、シーリングがかかった都道府県において、過去2年にわたって極めて少ない(5未満)県・診療科についても「5」というシーリングがかかりましたが、これは、診療科や県の意欲をそぐもののご意見をいただいております。シーリングをかけることが実態にそぐわないため、シーリングを外すことといたします。この点につきましては、今後の動向を見ながら必要とあれば、再考することも考慮してまいります。	令和2年度シーリングに反映済み。
—	シーリングの対象となった都道府県のうち、都道府県内に医師少数区域がある都道府県に対する一定の配慮のため、地域貢献率算出にあたっては、シーリング対象外の都道府県において研修を実施する期間に加え、都道府県内の医師少数区域において研修を実施する期間も考慮に入れること。	シーリングの対象となった都道府県から当機構に対し、その都道府県内の偏在について配慮してほしいという要望が多数届いております。特に医師充足率の高い同都道府県内に離島や山間部があるところでは、2次医療圏間の医師偏在が顕著であることから、同都道府県内での医師少数区域における研修期間は地域貢献率算出に組み入れることとします。	令和2年度シーリングに反映済み。
(2) 令和3年度以降開始の研修プログラムにおけるシーリングに関すること			
滋賀県からの意見	厚生労働大臣からの意見	日本専門医機構回答	現状の確認
—	令和2年度のシーリング案では、連携プログラム制度が設けられたが、医師少数県との連携プログラム枠の拡大(都道府県限定分の増加)や、すべての医師少数県の連携プログラムへの参加、参加医師への支援を含むプログラム連携するメリットの創設など、連携プログラムにより医師偏在解消が図れるよう制度設計を行うこと。	当機構では、令和元年8月より令和3年度以降の募集研修プログラムに関し、「専門医養成数に関する検討協議会」を開催し、順次各基本領域や地域団体の意見を聴取しています。本協議会において、各基本領域あるいは地域の事情をできるだけ明らかにし、頂いた意見を参考に令和3年度のシーリング案を検討していきたいと存じます。連携プログラム枠を増加させることは、各基本領域とも相談の上、連携が組める地域は、受け入れ先の連携施設条件などを提示する等、連携を組むことを促進します。とくに医師少数地域への連携に参加する医師のメリットについては貴省と相談の上、偏在対策に資するよう検討してまいります。	検討状況について機構に確認したが、回答なし

滋賀県からの意見	厚生労働大臣からの意見	日本専門医機構回答	現状の確認
—	医師数と必要医師数の比である足下充足率について、ブロック毎で大きく異なることを勘案し、医師不足県が多数あるブロックにおいて専攻医が充足されるよう、偏在是正対策として適切なシーリングを設定すること。	必要医師数の調査において、とくに東北ブロックにおいては全体的に医師充足率が低いことを鑑み、本ブロックとの連携については連携施設条件など考慮に入れて強く推進してまいります。	連携プログラムの作成に相当の労力がかかり、準備期間が必要。 令和3年度の実施は見送る。 (4/10専門研修部会資料より)
—	令和2年度のシーリングによって、医師多数県への専攻医集中がどの程度改善・解消されたかを詳細に検証し、2021年度以降のシーリング設定にあたっては、医師偏在解消に実効性が十分に上がるよう制度設計を行うこと。	必要医師数から割り出された医師多数県への専攻医集中の程度については、令和2年4月には判明すると考えられます。この時点でのデータを解析することにより、関係領域・関係地区との相談の上、令和3年以降の医師偏在が悪化しないような方策をとってまいります。	令和2年度の採用結果を踏まえると、偏在是正対策として一定程度の効果があると考えられる。 (4/10専門研修部会資料より)
—	周産期医療、救急医療等の政策医療及び地域病院の医療提供体制を維持していくために不可欠な診療科の外科、産婦人科、救急科、総合診療科については、引き続きシーリングにおいて一定の配慮がされるべきであるという意見がある一方で、外科等を希望する医師が都市部に集中する結果となっていることから、専攻医が多い東京都等は過去の採用実績等を踏まえ、実質的なシーリングを設定するなど、他の地域と区別して対策を講じるべきであるといった両論の意見があることから、引き続き議論を行うこと。	外科や産婦人科の専攻医数に関しては、過去2年間シーリングをかけていないにもかかわらず、増加していない。東京についても人数としては若干増加したものの、医師全体の比率でみる限り増加は認められません。今後は、シーリング対象外の外科や産婦人科を増やす方策についても検討して参ります。	検討状況について機構に確認したが、回答なし
今年度策定することとされている「医師確保計画」では、小児科に係る医師確保計画も策定することとされており、相対的に医師が多い地域でも医師確保が必要とされている。シーリングにより専攻医採用に制限がかかることで小児科医の確保に支障が出ることから、同じく医師確保計画を策定する産科と同様、シーリング対象の診療科としないよう求める。	現在のシーリングの対象とされている診療科においても、引き続きシーリングの対象科とすべきか、診療科の特性を考慮した上で、根拠に基づいた議論を行うこと。	現在シーリング対象となっている診療科についても、一部の診療科は充足率が低く、今般の我が国の医療状況を鑑みても、増加させるべき診療科もあると考えます。今後、連携プログラムの更なる増加など対策を検討いたします。	検討状況について機構に確認したが、回答なし
—	大学病院の専門医は、教育や研究に従事している時間も相当長いいため、専門研究における研究等の位置づけを検討し、信頼性の高いデータに基づいて教育や研究を維持するための必要な医師数について、専攻医の採用において考慮すること。	現在用いている必要医師数は、診療における必要医師数であり、大学病院などの研究や教育についてはその実情を十分に反映されていないとの指摘がなされています。今後、現在のシーリングが続くと我が国の医学研究レベルの低下につながるのではないかと懸念が示されています。この点については科学立国を目指してきた我が国にとっては再考すべき事態であり、大学病院などの医師の教育・研究のエフォートを明確にするため、各大学や文部科学省とも協力して検討してまいります。	検討結果が、今回の臨床研究医コースの設置に対応するものと思われる。
—	シーリング対象となっている基本領域に複数の基幹施設が存在する場合、早急に専門医機構が責任を持って学会に定員調整を指示するとともに、基幹施設ごとの定員調整を行う主体・時期・手法等の運用ルールを確立すること。その際には、地域貢献率(地域研修率)が高いプログラムでより多くの専攻医が採用されるルールとすること。	基本的には定員調整や手法を行う主体は関係領域学会としておりますが、定員調整の時期や地域医療に資する定員配置の在り方については機構においても検討して参ります。	検討状況について機構に確認したが、回答なし

(3)研修プログラムの内容に関すること			
滋賀県からの意見	厚生労働大臣からの意見	日本専門医機構回答	現状の確認
—	プログラム整備基準に記載されているとおり、専門研修プログラムの全期間において研修先が計画されていることは、プログラム制の前提であり、研修先が未定の期間があるプログラムについては、募集を認めないこと。	今後は、プログラム作成の手順書を当機構が責任を持って作成し、全研修期間(領域により3~5年)の予定をあらかじめ記載するよう指導していきます。今年度の募集においても、募集開始時期までに全プログラムの予定を提出するようにプログラム責任者に求めています。	実施状況について機構に確認したが、回答なし
滋賀県からの意見	厚生労働大臣からの意見	日本専門医機構回答	現状の確認
—	連携施設に3ヶ月以上勤務しないことになっているプログラムが存在するため、各学会から提出されたプログラムが専門医制度整備指針、運用細則等に則っているか厳正に審査し、即していないプログラムについては認定を行わないこと。また、連携施設における研修期間が3ヶ月未満となることを認める場合の要件について明確に定めること。	連携施設での研修期間などについて、整備指針を遵守できていないプログラムについては、その理由を明確に求め、不適切な場合は是正を求めてまいります。	実施状況について機構に確認したが、回答なし
—	基幹施設がシーリング対象外の都道府県に存在するプログラムにおいては、シーリングを有効に機能させるために、シーリング対象の都道府県に所在する連携施設における研修期間に一定の上限を設けること。	整備指針上では基幹施設での研修は6ヶ月以上と定められていますが、シーリング対象の都道府県の連携施設における研修が長期になっている場合などは、その是正を求めることいたします。	実施状況について機構に確認したが、回答なし
—	専攻医採用実績が350名以上の基本領域学会において、都道府県ごとに複数の基幹施設を設置しておらず、新整備指針運用細則が遵守されていない状況が見受けられる。県内で複数プログラムを持たないことについて、人口や病院数等の地域の実情及び教育レベル維持の観点から検証を行うこと。	都道府県ごとの基幹施設の複数化については、これまでもその関係領域学会に是正を求めており、徐々に是正されています。しかし、一部の地域においては、複数であることによる弊害がある場合もあるという意見もあり、地域の意見も聞きつつ、各都道府県の専攻医にとって最善の研修環境を提供できるように指導していきます。	実施状況について機構に確認したが、回答なし
—	プログラム通りの研修を実施しているか、どの研修施設で研修しているか確実にフォローアップできるシステムを早急に導入し、毎年十分な検証を行い、公表すること。	2019年10月から専攻医のための研修管理システム(マイページ)をWEB上に開設します。これは診療実績を登録できるシステムであり、今後専攻医の動向は登録画面を通じて確認できるようになります。	実施状況について機構に確認したが、回答なし
—	変わりゆく地域の実情に応じて、連携施設における研修は研修施設や基幹の変更も期待されるため、専攻医および研修施設の合意の下、地域医療対策協議会で議論し、専門医制度整備指針、運用細則、シーリング等の枠組みを超えない範囲で変更を可能とすること。	プログラムの変更手続きに関しては、今後、当機構内で検討して参ります。	検討状況について機構に確認したが、回答なし
—	研修プログラムの認定にあたっては、あらかじめ都道府県の地域医療対策協議会の意見を聞いた上で認定を行い、地域医療に配慮されたプログラムになるよう努めること。	今後は、募集までの準備スケジュールを見直し、地域医療対策協議会においても十分にご議論頂けるような期間を設けるとともに、頂戴した意見を反映できるように、募集開始時間までの期間も十分に設けるようにいたします。	スケジュールが前年度と同様であり、十分な期間があるとは認められない。
(4)日本専門医機構のガバナンスに関すること			
滋賀県からの意見	厚生労働大臣からの意見	日本専門医機構回答	現状の確認
—	厚生労働省、都道府県、学会、専攻医を目指す医師等からの問い合わせに適切に対応するため、専用の担当者を置くなど事務機能を早急に強化すること。昨年も同様の要請を行ったが、改善が認められないため、可及的速やかな対応を講ずること。	当機構のガバナンスについては、前年より行ってきた当機構に対する第三者による調査報告に基づき、早急に対応を講ずる所存です。具体的には、情報の厳格管理、財務内容の早期改善、事務局職員増による適正配置、既存業務のシステム化を行い、事務局機能を強化していきたいと考えています。	問い合わせ対応をしていない状況。改善が認められない。

	滋賀県からの意見	厚生労働大臣からの意見	日本専門医機構回答	現状の確認
	都道府県が確認することとされている項目の情報については、日本専門医機構からの迅速かつ適切な提供をお願いしたい。	専門研修プログラムの内容についての情報提供が遅く、都道府県で十分に確認する時間が確保できないため、シーリングの改定、学会及び基幹施設への周知、研修プログラムのとりまとめ等について、スケジュールを明確にし、遵守すること。	本年事務局長が着任し、更にシステム担当者を採用しました。今後は、財務状況の改善と平行して従来の事務局機能を改善・強化することにより、厚生労働省、都道府県、各学会および専攻医など関係各方面とのコミュニケーションを高め、遅滞のない運営をはかっていきたいと考えます。	情報提供の時期、内容およびその正確性、どれも改善が認められない。 (結局県で独自調査を行った。)
2. 研修の機会確保に関する事				
(1)カリキュラム制について				
	滋賀県からの意見	厚生労働大臣からの意見	日本専門医機構回答	現状の確認
—		各領域において、地域枠医師や育児や介護と両立する医師のために、カリキュラム制を整備する必要があるが、一部の領域においてはカリキュラム制が整備されていないことから、速やかに整備すること。また、カリキュラム制で研修が行える医療機関のリストを早急に整備し、各学会および日本専門医機構のホームページ等で速やかに公開すること。	カリキュラム制については、専攻医に対しどのような場合に選択できるのかその要件を当機構のホームページ及び登録画面上において周知いたします。また、その際の手順や必須項目などについても、当機構並びに関係領域学会のホームページに記載し、周知徹底をはかりたいと存じます。	具体的にどのような対応を行ったのか不明
—		シーリング対象の都道府県においても、出産や介護との両立のためカリキュラム制を選択する専攻医が適切に採用されるように、一定の仕組みを検討すること。	シーリング対象の都道府県においても、出産や介護などの事情によりカリキュラム制に移行することは可能であり、カリキュラム制に移行の際の手順書を登録画面に整備することを考慮いたします。また、シーリング対象の都道府県診療科においてもカリキュラム制の専攻医が採用されるように検討して参ります。	検討状況について機構に確認したが、回答なし
(2)基幹施設の認定基準について				
	滋賀県からの意見	厚生労働大臣からの意見	日本専門医機構回答	現状の確認
—		都道府県ごとに複数の基幹病院を設置できるよう努力し、必要に応じて各学会のプログラム整備基準の再検証を行うこと。	基幹施設の要件は、専攻医の教育上で極めて重要であることから、関係基本領域学会と慎重に議論をした上で検証してまいります。	検証状況について機構に確認したが、回答なし

**令和3年度
専門研修プログラムにおける
連携施設の状況一覧**

内科

内科 1/2

圏域	A群						
	連携施設	大津			湖南		
		基幹施設 市立大津市民病院	大津赤十字病院	滋賀医科大学 医学部附属病院	草津総合病院	滋賀県立総合病院	済生会 滋賀県病院
R3定員数		4	16	20	3	4	5
A群	打出病院						
	市立大津市民病院			○			
	大津赤十字病院			○			
	大津赤十字志賀病院		○			○	
	堅田病院						
	滋賀医科大学医学部附属病院	○	○		○	○	○
	滋賀里病院						
	地域医療機能推進機構滋賀病院			○	○		
	瀬田川病院						
	ひかり病院						
	琵琶湖病院						
	琵琶湖大橋病院						
	琵琶湖中央病院						
	琵琶湖養育院病院						
	山田整形外科病院						
	大津FC						
	桂川レディースクリニック						
	近江草津徳洲会病院			○			
	草津総合病院			○			○
	滋賀県立精神医療センター						
	ひわご学園医療福祉センター草津						
	南草津野村病院						○
	南草津病院						
	滋賀県立小児保健医療センター		○	○			○
	滋賀県立総合病院		○	○		○	○
	済生会守山市民病院			○		○	○
	済生会滋賀県病院			○	○	○	
湖南病院							
ひわご学園医療福祉センター野洲							
市立野洲病院			○			○	
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院					
	公立甲賀病院			○		○	
	甲南病院			○			
	国立病院機構紫香楽病院						
	水口病院						
	生田病院						
	甲西リハビリ病院						
	医療生協こうせい駅前診療所						
	東近江	ウォーリス記念病院		○			
	近江八幡市立総合医療センター			○		○	
	滋賀八幡病院						
	青葉病院						
	近江温泉病院						
	神崎中央病院						
	国立病院機構東近江総合医療センター			○		○	
	湖東記念病院			○			
	東近江敬愛病院						
	東近江市立能登川病院			○			
	日野記念病院						
	竜王町国民健康保険診療所						
	湖東診療所						
	永源寺診療所						
	東近江市立蒲生医療センター						
	弓削MC						
	湖東	彦根市立病院	○	○		○	
	彦根中央病院						
	友仁山崎病院			○			
	豊郷病院			○			
	湖北	市立長浜病院		○			
	セフィロト病院						
	長浜赤十字病院		○	○		○	
	長浜市立湖北病院						
	中之郷診療所						
	にしあざい診療所						
	ケアセンターいぶき						
	近江診療所						
浅井東診療所							
湖西	今津病院						
高島市民病院		○	○		○		
マキノ病院							
県外	京都府	4	6	6		2	1
	大阪府	1	4	11		3	
	兵庫県		2	1			
	奈良県		1	1		1	
	和歌山県		1	1		1	
	福井県						
	岡山県			1			
	東京都			1			
	県外計	5	14	22		7	1
	A群計	1	3	9	3	4	6
B群計	1	2	13		6	1	
合計(A群+B群+県外)	7	19	44	3	17	8	

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

内科

内科 2/2

圏域	B群				連携病院数	
	東近江		湖東	湖北		
	連携施設	基幹施設	近江八幡市立総合医療センター	国立病院機構東近江総合医療センター		彦根市立病院
R3定員数		10	3	3	3	
A群	大津	打出病院				
		市立大津市民病院			○	
		大津赤十字病院				
		大津赤十字志賀病院				
		堅田病院				
		滋賀医科大学医学部附属病院	○	○	○	○
		滋賀里病院				
		地域医療機能推進機構滋賀病院				
		瀬田川病院				
		ひかり病院				
	琵琶湖病院					
	琵琶湖大橋病院					
	琵琶湖中央病院					
	琵琶湖養育院病院					
	山田整形外科病院					
	大津FC					
	桂川レディースクリニック					
	湖南	近江草津徳洲会病院				
		草津総合病院				
		滋賀県立精神医療センター				
ひわご学園医療福祉センター草津						
南草津野村病院						
南草津病院						
滋賀県立小児保健医療センター						
滋賀県立総合病院		○		○		
済生会守山市民病院						
済生会滋賀県病院		○				
湖南病院						
ひわご学園医療福祉センター野洲						
市立野洲病院						
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院				
		公立甲賀病院				
		甲南病院				
		国立病院機構紫雲香楽病院				
		水口病院				
		生田病院				
		甲西リハビリ病院				
		医療生協こうせい駅前診療所				
	東近江	ウォーリス記念病院	○			
		近江八幡市立総合医療センター				
		滋賀八幡病院				
		青葉病院				
		近江温泉病院				
		神崎中央病院				
		国立病院機構東近江総合医療センター				
		湖東記念病院				
		東近江敬愛病院				
		東近江市立能登川病院	○			
		日野記念病院				
		竜王町国民健康保険診療所				
湖東診療所						
永源寺診療所						
東近江市立蒲生医療センター	○					
弓削MC	○					
湖東	彦根市立病院				○	
	彦根中央病院					
	友仁山崎病院					
	豊郷病院					
湖北	市立長浜病院			○		
	セフィロト病院					
	長浜赤十字病院					
	長浜市立湖北病院				○	
	中之郷診療所					
	にしあざい診療所					
	ケアセンターいぶき					
湖西	近江診療所					
	浅井東診療所					
	今津病院					
県外	高島市民病院					
	マキノ病院					
	京都府	6		1	1	
	大阪府	1				
	兵庫県					
	奈良県			1		
	和歌山県					
	福井県			1		
岡山県						
東京都						
県外計		7		3	1	
A群計		3	1	3	1	
B群計		4		1	2	
合計(A群+B群+県外)		14	1	7	4	

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

小児科

圏域	A群			連携病院数		
	大津					
	連携施設	基幹施設	大津赤十字病院		滋賀医科大学医学部附属病院	
R3定員数		3	10			
A群	大津	打出病院			8	
		市立大津市民病院				
		大津赤十字病院				
		大津赤十字志賀病院				
		堅田病院				
		滋賀医科大学医学部附属病院	○			
		滋賀里病院				
		地域医療機能推進機構滋賀病院		○		
		瀬田川病院				
		ひかり病院				
		琵琶湖病院				
		琵琶湖大橋病院				
		琵琶湖中央病院				
		琵琶湖養育院病院				
	山田整形外科病院					
	大津FC					
	桂川レディースクリニック					
	湖南	近江草津徳洲会病院		○		
		草津総合病院				
		滋賀県立精神医療センター				
		ひわご学園医療福祉センター草津		○		
		南草津野村病院				
		南草津病院				
		滋賀県立小児保健医療センター	○			
		滋賀県立総合病院				
		済生会守山市民病院		○		
		済生会滋賀県病院		○		
湖南病院						
ひわご学園医療福祉センター野洲			○			
市立野洲病院						
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院			8	
		公立甲賀病院				
		甲南病院				
		国立病院機構紫香楽病院		○		
		水口病院				
		生田病院				
		甲西リハビリ病院				
		医療生協こうせい駅前診療所				
		東近江	ウォーリス記念病院			○
			近江八幡市立総合医療センター			
	滋賀八幡病院					
	青葉病院					
	近江温泉病院					
	神崎中央病院					
	国立病院機構東近江総合医療センター			○		
	湖東記念病院			○		
	東近江敬愛病院					
	東近江市立能登川病院					
	日野記念病院			○		
	竜王町国民健康保険診療所					
	湖東診療所					
	永源寺診療所					
	東近江市立蒲生医療センター					
	弓削MC					
	湖東	彦根市立病院	○	○		
		彦根中央病院				
		友仁山崎病院				
		豊郷病院				
	湖北	市立長浜病院				
		セフィロト病院				
		長浜赤十字病院		○		
		長浜市立湖北病院		○		
		中之郷診療所				
		にしあざい診療所				
		ケアセンターいぶき				
		近江診療所				
湖西	浅井東診療所					
	今津病院					
湖西	高島市民病院					
	マキノ病院					
	京都府	1	1			
	兵庫県	1				
県外	奈良県	1				
	県外計	3	1			
A群計		2	6			
B群計		1	8			
合計(A群+B群+県外)		6	15			

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

皮膚科

圏域		A群		連携病院数
		大津		
		基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院	
		連携施設		
		R3定員数	7	
A群	大津	打出病院		2
		市立大津市民病院		
		大津赤十字病院		
		大津赤十字志賀病院		
		堅田病院		
		滋賀医科大学医学部附属病院		
		滋賀里病院		
		地域医療機能推進機構滋賀病院	○	
		瀬田川病院		
		ひかり病院		
	琵琶湖病院			
	琵琶湖大橋病院			
	琵琶湖中央病院			
	琵琶湖養育院病院			
	山田整形外科病院			
	大津FC			
	桂川レディースクリニック			
	湖南	近江草津徳洲会病院		
		草津総合病院	○	
		滋賀県立精神医療センター		
ひわこ学園医療福祉センター草津				
南草津野村病院				
南草津病院				
滋賀県立小児保健医療センター				
滋賀県立総合病院				
済生会守山市民病院				
済生会滋賀県病院				
湖南病院				
ひわこ学園医療福祉センター野洲				
市立野洲病院				
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院		5
		公立甲賀病院	○	
		甲南病院		
		国立病院機構紫香楽病院		
		水口病院		
		生田病院		
		甲西リハビリ病院		
		医療生協こうせい駅前診療所		
	東近江	ウォーリス記念病院		
		近江八幡市立総合医療センター		
		滋賀八幡病院		
		青葉病院		
		近江温泉病院		
		神崎中央病院		
		国立病院機構東近江総合医療センター	○	
		湖東記念病院		
		東近江敬愛病院	○	
		東近江市立能登川病院		
		日野記念病院	○	
		竜王町国民健康保険診療所		
	湖東診療所			
	永源寺診療所			
	東近江市立蒲生医療センター			
	弓削MC			
	湖東	彦根市立病院	○	
		彦根中央病院		
		友仁山崎病院		
		豊郷病院		
	湖北	市立長浜病院		
		セフィロト病院		
長浜赤十字病院				
長浜市立湖北病院				
中之郷診療所				
にしあざい診療所				
ケアセンターいぶき				
近江診療所				
浅井東診療所				
湖西	今津病院			
	高島市民病院			
県外	マキノ病院			
県外		県外計		
		A群計		2
		B群計		5
		合計(A群+B群+県外)		7

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

精神科

圏域		A群		連携病院数	
		大津			
		基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院		
		連携施設			
		R3定員数	6		
A群	大津	打出病院		5	
		市立大津市民病院			
		大津赤十字病院			
		大津赤十字志賀病院			
		堅田病院			
		滋賀医科大学医学部附属病院			
		滋賀里病院	○		
		地域医療機能推進機構滋賀病院			
		瀬田川病院	○		
		ひかり病院			
		琵琶湖病院	○		
		琵琶湖大橋病院			
		琵琶湖中央病院			
	琵琶湖養育院病院				
	山田整形外科病院				
	大津FC				
	桂川レディースクリニック				
	湖南	近江草津徳洲会病院			
		草津総合病院			
		滋賀県立精神医療センター	○		
		ひわこ学園医療福祉センター草津			
		南草津野村病院			
		南草津病院			
		滋賀県立小児保健医療センター			
		滋賀県立総合病院			
		済生会守山市民病院			
済生会滋賀県病院		○			
湖南病院					
ひわこ学園医療福祉センター野洲					
市立野洲病院					
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院		4	
		公立甲賀病院			
		甲南病院			
		国立病院機構紫香楽病院			
		水口病院	○		
		生田病院			
		甲西リハビリ病院			
		医療生協こうせい駅前診療所			
		東近江	ウォーリス記念病院		
			近江八幡市立総合医療センター		
	滋賀八幡病院		○		
	青葉病院				
	近江温泉病院				
	神崎中央病院				
	国立病院機構東近江総合医療センター				
	湖東記念病院				
	東近江敬愛病院				
	東近江市立能登川病院				
	日野記念病院				
	竜王町国民健康保険診療所				
	湖東診療所				
	永源寺診療所				
	東近江市立蒲生医療センター				
	弓削MC				
	湖東	彦根市立病院			
		彦根中央病院			
		友仁山崎病院			
		豊郷病院			
	湖北	市立長浜病院			
		セフィロト病院	○		
		長浜赤十字病院	○		
		長浜市立湖北病院			
		中之郷診療所			
		にしあざい診療所			
		ケアセンターいぶき			
		近江診療所			
浅井東診療所					
湖西	今津病院				
	高島市民病院				
	マキノ病院				
県外	愛知県		1		
	岐阜県		4		
		県外計	5		
		A群計	5		
		B群計	4		
		合計(A群+B群+県外)	14		

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

外科

圏域	A群			連携病院数		
	大津					
	連携施設	基幹施設	大津赤十字病院		滋賀医科大学医学部附属病院	
R3定員数		10	12			
A群	大津	打出病院			5	
		市立大津市民病院	○			
		大津赤十字病院				
		大津赤十字志賀病院				
		堅田病院				
		滋賀医科大学医学部附属病院				
		滋賀里病院				
		地域医療機能推進機構滋賀病院		○		
		瀬田川病院				
		ひかり病院				
		琵琶湖病院				
		琵琶湖大橋病院				
		琵琶湖中央病院				
		琵琶湖養育院病院				
	山田整形外科病院					
	大津FC					
	桂川レディースクリニック					
	湖南	近江草津徳洲会病院				
		草津総合病院		○		
		滋賀県立精神医療センター				
		ひわこ学園医療福祉センター草津				
		南草津野村病院				
		南草津病院				
		滋賀県立小児保健医療センター				
		滋賀県立総合病院	○			
		済生会守山市民病院				
		済生会滋賀県病院				
湖南病院						
ひわこ学園医療福祉センター野洲						
市立野洲病院			○			
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院			10	
		公立甲賀病院	○	○		
		甲南病院				
		国立病院機構紫雲病院				
		水口病院				
		生田病院				
		甲西リハビリ病院				
		医療生協こうせい駅前診療所				
		東近江	ウォーリス記念病院			
			近江八幡市立総合医療センター			○
			滋賀八幡病院			
	青葉病院					
	近江温泉病院					
	神崎中央病院					
	国立病院機構東近江総合医療センター			○		
	湖東記念病院			○		
	東近江敬愛病院					
	東近江市立能登川病院					
	日野記念病院			○		
	竜王町国民健康保険診療所					
	湖東診療所					
	永源寺診療所					
	東近江市立蒲生医療センター					
	弓削MC					
	湖東	彦根市立病院	○			
		彦根中央病院				
		友仁山崎病院				
		豊郷病院		○		
	湖北	市立長浜病院	○			
		セフィロト病院				
		長浜赤十字病院	○	○		
		長浜市立湖北病院				
		中之郷診療所				
		にしあざい診療所				
		ケアセンターいぶき				
		近江診療所				
	湖西	浅井東診療所				
		今津病院				
		高島市民病院	○			
	マキノ病院	マキノ病院				
		京都府		8		
		大阪府		3		
兵庫県			1			
静岡県			1			
石川県	石川県		1			
	県外計		14			
A群計		2	3			
B群計		5	7			
合計(A群+B群+県外)		7	24			

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

整形外科

圏域	A群				B群	連携病院数	
	連携施設	大津		湖南	東近江		
		基幹施設	大津赤十字病院	滋賀医科大学医学部附属病院	済生会滋賀県病院		近江八幡市立総合医療センター
R3定員数		5	6	9	3		
A群	大津	打出病院					
		市立大津市民病院					
		大津赤十字病院		○			
		大津赤十字志賀病院					○
		堅田病院					
		滋賀医科大学医学部附属病院					○
		滋賀里病院					
		地域医療機能推進機構滋賀病院					
		瀬田川病院					
		ひかり病院					
	琵琶湖病院						
	琵琶湖大橋病院						
	琵琶湖中央病院						
	琵琶湖養育院病院						
	山田整形外科病院						
	大津FC						
	桂川レディースクリニック						
	湖南	近江草津徳洲会病院					
		草津総合病院		○			○
		滋賀県立精神医療センター					
ひわご学園医療福祉センター草津							
南草津野村病院							
南草津病院							
滋賀県立小児保健医療センター		○	○			○	
滋賀県立総合病院		○	○			○	
済生会守山市民病院							
済生会滋賀県病院							
湖南病院							
ひわご学園医療福祉センター野洲							
市立野洲病院							
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院					
		公立甲賀病院	○	○			○
		甲南病院					
		国立病院機構紫香楽病院					
		水口病院					
		生田病院					
		甲西リハビリ病院					
		医療生協こうせい駅前診療所					
	東近江	ウォーリス記念病院					
		近江八幡市立総合医療センター		○			
		滋賀八幡病院					
		青葉病院					
		近江温泉病院					
		神崎中央病院					
		国立病院機構東近江総合医療センター					
		湖東記念病院					
		東近江敬愛病院					
		東近江市立能登川病院					
		日野記念病院					
		竜王町国民健康保険診療所					
湖東診療所							
永源寺診療所							
東近江市立蒲生医療センター							
弓削MC							
湖東	彦根市立病院						
	彦根中央病院						
	友仁山崎病院						
	豊郷病院						
湖北	市立長浜病院	○	○			○	
	セフィロト病院						
	長浜赤十字病院	○	○			○	
	長浜市立湖北病院						
	中之郷診療所						
	にしあざい診療所						
ケアセンターいぶき							
湖西	近江診療所						
	浅井東診療所						
	今津病院						
	高島市民病院	○					
県外	マキノ病院						
	京都府	2	4	5			
	大阪府		1	3			
福井県	2						
県外計		4	5	8			
A群計		2	4	1		5	
B群計		4	4			3	
合計(A群+B群+県外)		10	13	9		8	

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

産婦人科

圏域	A群		連携病院数		
	大津				
	連携施設	基幹施設			
		大津赤十字病院	滋賀医科大学医学部附属病院		
	R3定員数	3	8		
A群	大津	打出病院			
		市立大津市民病院		○	
		大津赤十字病院		○	
		大津赤十字志賀病院			
		堅田病院			
		滋賀医科大学医学部附属病院			
		滋賀里病院			
		地域医療機能推進機構滋賀病院			
		瀬田川病院			
		ひかり病院			
		琵琶湖病院			
		琵琶湖大橋病院			
		琵琶湖中央病院			
		琵琶湖養育院病院			
	山田整形外科病院				
	大津FC				
	桂川レディースクリニック	○			
	湖南	近江草津徳洲会病院			
		草津総合病院	○	○	
		滋賀県立精神医療センター			
		ひわこ学園医療福祉センター草津			
		南草津野村病院			
		南草津病院			
		滋賀県立小児保健医療センター			
		滋賀県立総合病院	○	○	
		済生会守山市民病院			
		済生会滋賀県病院		○	
湖南病院					
ひわこ学園医療福祉センター野洲					
市立野洲病院					
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院			
		公立甲賀病院		○	
		甲南病院			
		国立病院機構紫香楽病院			
		水口病院			
		生田病院			
		甲西リハビリ病院			
		医療生協こうせい駅前診療所			
		東近江	ウォーリス記念病院		
			近江八幡市立総合医療センター		○
	滋賀八幡病院				
	青葉病院				
	近江温泉病院				
	神崎中央病院				
	国立病院機構東近江総合医療センター			○	
	湖東記念病院				
	東近江敬愛病院				
	東近江市立能登川病院				
	日野記念病院				
	竜王町国民健康保険診療所				
	湖東診療所				
	永源寺診療所				
	東近江市立蒲生医療センター				
	弓削MC				
	湖東	彦根市立病院		○	
		彦根中央病院			
		友仁山崎病院			
		豊郷病院			
	湖北	市立長浜病院		○	
		セフィロト病院			
		長浜赤十字病院	○	○	
		長浜市立湖北病院			
		中之郷診療所			
		にしあざい診療所			
		ケアセンターいぶき			
		近江診療所			
	浅井東診療所				
	湖西	今津病院			
		高島市民病院		○	
		マキノ病院			
	県外	京都府	3		
		兵庫県			
	県外計	3	1		
	A群計	3	5		
	B群計	1	7		
	合計(A群+B群+県外)	7	13		

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

眼科

圏域		A群		連携病院数
		大津		
		基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院	
		連携施設		
		R3定員数	5	
A群	大津	打出病院		2
		市立大津市民病院		
		大津赤十字病院		
		大津赤十字志賀病院		
		堅田病院		
		滋賀医科大学医学部附属病院		
		滋賀里病院		
		地域医療機能推進機構滋賀病院	○	
		瀬田川病院		
		ひかり病院		
	琵琶湖病院			
	琵琶湖大橋病院			
	琵琶湖中央病院			
	琵琶湖養育院病院			
	山田整形外科病院			
	大津FC			
	桂川レディースクリニック			
	湖南	近江草津徳洲会病院		
		草津総合病院	○	
		滋賀県立精神医療センター		
ひわこ学園医療福祉センター草津				
南草津野村病院				
南草津病院				
滋賀県立小児保健医療センター				
滋賀県立総合病院				
済生会守山市民病院				
済生会滋賀県病院				
湖南病院				
ひわこ学園医療福祉センター野洲				
市立野洲病院				
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院		4
		公立甲賀病院	○	
		甲南病院		
		国立病院機構紫香楽病院		
		水口病院		
		生田病院		
		甲西リハビリ病院		
		医療生協こうせい駅前診療所		
	東近江	ウォーリス記念病院		
		近江八幡市立総合医療センター	○	
		滋賀八幡病院		
		青葉病院		
		近江温泉病院		
		神崎中央病院		
		国立病院機構東近江総合医療センター	○	
		湖東記念病院		
		東近江敬愛病院		
		東近江市立能登川病院		
		日野記念病院		
		竜王町国民健康保険診療所		
	湖東診療所			
	永源寺診療所			
	東近江市立蒲生医療センター			
	弓削MC			
	湖東	彦根市立病院		
		彦根中央病院		
		友仁山崎病院		
		豊郷病院	○	
	湖北	市立長浜病院		
		セフィロト病院		
長浜赤十字病院				
長浜市立湖北病院				
中之郷診療所				
にしあざい診療所				
ケアセンターいぶき				
湖西	近江診療所			
	浅井東診療所			
	今津病院			
	高島市民病院			
県外	京都府		1	
	県外計		1	
		A群計	2	
		B群計	4	
		合計(A群+B群+県外)	7	

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

耳鼻咽喉科

圏域		A群		連携病院数	
		大津	湖南		
		基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院	滋賀県立総合病院	
		連携施設			
		R3定員数	6	4	
A群	大津	打出病院			4
		市立大津市民病院			
		大津赤十字病院		○	
		大津赤十字志賀病院			
		堅田病院			
		滋賀医科大学医学部附属病院			
		滋賀里病院			
		地域医療機能推進機構滋賀病院	○		
		瀬田川病院			
		ひかり病院			
		琵琶湖病院			
		琵琶湖大橋病院			
		琵琶湖中央病院			
	琵琶湖養育院病院				
	山田整形外科病院				
	大津FC				
	桂川レディースクリニック				
	湖南	近江草津徳洲会病院			
		草津総合病院	○		
		滋賀県立精神医療センター			
		ひわご学園医療福祉センター草津			
		南草津野村病院			
		南草津病院			
		滋賀県立小児保健医療センター		○	
		滋賀県立総合病院			
		済生会守山市民病院			
済生会滋賀県病院					
湖南病院					
ひわご学園医療福祉センター野洲					
市立野洲病院					
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院			6
		公立甲賀病院	○		
		甲南病院			
		国立病院機構紫香楽病院			
		水口病院			
		生田病院			
		甲西リハビリ病院			
		医療生協こうせい駅前診療所			
		東近江	ウォーリス記念病院		
	近江八幡市立総合医療センター				
	滋賀八幡病院				
	青葉病院				
	近江温泉病院				
	神崎中央病院				
	国立病院機構東近江総合医療センター		○		
	湖東記念病院				
	東近江敬愛病院				
	東近江市立能登川病院				
	日野記念病院		○		
	竜王町国民健康保険診療所				
	湖東診療所				
	永源寺診療所				
	東近江市立蒲生医療センター				
	弓削MC				
	湖東	彦根市立病院	○		
		彦根中央病院			
		友仁山崎病院			
		豊郷病院			
	湖北	市立長浜病院	○		
		セフィロト病院			
		長浜赤十字病院	○		
		長浜市立湖北病院			
		中之郷診療所			
にしあざい診療所					
ケアセンターいぶき					
湖西	近江診療所				
	浅井東診療所				
	今津病院				
	高島市民病院				
県外	マキノ病院				
	京都府	2	1		
	大阪府	1	1		
	和歌山県		1		
	岡山県		1		
		県外計	3	4	
		A群計	2	2	
		B群計	6	6	
		合計(A群+B群+県外)	11	6	

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

泌尿器科

圏域			A群	B群	連携病院数	
			大津	東近江		
	連携施設	基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院	近江八幡市立総合医療センター		
R3定員数			7	3		
A群	大津	打出病院			4	
		市立大津市民病院				
		大津赤十字病院				
		大津赤十字志賀病院				
		堅田病院				
		滋賀医科大学医学部附属病院				
		滋賀里病院				
		地域医療機能推進機構滋賀病院	○			
		瀬田川病院				
		ひかり病院				
		琵琶湖病院				
		琵琶湖大橋病院				
		琵琶湖中央病院				
		琵琶湖養育院病院				
	山田整形外科病院					
	大津FC					
	桂川レディースクリニック					
	湖南	近江草津徳洲会病院				
		草津総合病院	○			
		滋賀県立精神医療センター				
		ひわご学園医療福祉センター草津				
		南草津野村病院				
		南草津病院				
		滋賀県立小児保健医療センター				
		滋賀県立総合病院				
		済生会守山市民病院				
		済生会滋賀県病院	○			
湖南病院						
ひわご学園医療福祉センター野洲						
市立野洲病院		○				
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院			9	
		公立甲賀病院	○			
		甲南病院				
		国立病院機構紫香楽病院				
		水口病院				
		生田病院				
		甲西リハビリ病院				
		医療生協こうせい駅前診療所				
		東近江	ウォーリス記念病院			
			近江八幡市立総合医療センター			
	滋賀八幡病院					
	青葉病院					
	近江温泉病院					
	神崎中央病院					
	国立病院機構東近江総合医療センター		○			
	湖東記念病院					
	東近江敬愛病院					
	東近江市立能登川病院					
	日野記念病院		○			
	竜王町国民健康保険診療所					
	湖東診療所					
	永源寺診療所					
	東近江市立蒲生医療センター					
	弓削MC					
	湖東	彦根市立病院	○			
		彦根中央病院				
		友仁山崎病院				
		豊郷病院	○			
	湖北	市立長浜病院	○			
		セフィロト病院				
		長浜赤十字病院	○			
		長浜市立湖北病院		○		
		中之郷診療所				
		にしあざい診療所				
		ケアセンターいぶき				
		近江診療所				
	湖西	浅井東診療所				
		今津病院				
		高島市民病院	○			
県外	マキノ病院					
	京都府	2	8			
	和歌山県		1			
県外計		2	9			
A群計			4			
B群計			8	1		
合計(A群+B群+県外)			14	10		

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

脳神経外科

圏域		A群		連携病院数
		大津		
		連携施設	基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院
		R3定員数	3	
A群	大津	打出病院		3
		市立大津市民病院		
		大津赤十字病院	○	
		大津赤十字志賀病院		
		堅田病院		
		滋賀医科大学医学部附属病院		
		滋賀里病院		
		地域医療機能推進機構滋賀病院		
		瀬田川病院		
		ひかり病院		
	琵琶湖病院			
	琵琶湖大橋病院			
	琵琶湖中央病院			
	琵琶湖養育院病院			
	山田整形外科病院			
	大津FC			
	桂川レディースクリニック			
	湖南	近江草津徳洲会病院		
		草津総合病院	○	
		滋賀県立精神医療センター		
ひわこ学園医療福祉センター草津				
南草津野村病院				
南草津病院				
滋賀県立小児保健医療センター				
滋賀県立総合病院				
済生会守山市民病院				
済生会滋賀県病院		○		
湖南病院				
ひわこ学園医療福祉センター野洲				
市立野洲病院				
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院		
		公立甲賀病院	○	
		甲南病院		
		国立病院機構紫香楽病院		
		水口病院		
		生田病院		
		甲西リハビリ病院		
		医療生協こうせい駅前診療所		
	東近江	ウォーリス記念病院		
		近江八幡市立総合医療センター	○	
		滋賀八幡病院		
		青葉病院		
		近江温泉病院		
		神崎中央病院		
		国立病院機構東近江総合医療センター		
		湖東記念病院	○	
		東近江敬愛病院		
		東近江市立能登川病院		
		日野記念病院		
		竜王町国民健康保険診療所		
	湖東診療所			
	永源寺診療所			
	東近江市立蒲生医療センター			
	弓削MC			
	湖東	彦根市立病院		
		彦根中央病院		
		友仁山崎病院		
		豊郷病院		
	湖北	市立長浜病院		
		セフィロト病院		
長浜赤十字病院		○		
長浜市立湖北病院				
中之郷診療所				
にしあざい診療所				
ケアセンターいぶき				
湖西	近江診療所			
	浅井東診療所			
	今津病院			
	高島市民病院			
		マキノ病院		
県外	京都府		2	
	大阪府		1	
	奈良県		1	
	静岡県		1	
	福岡県		1	
		県外計	6	
		A群計	3	
		B群計	4	
		合計(A群+B群+県外)	13	

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

放射線科

圏域		A群		連携病院数	
		大津			
連携施設		基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院		
R3定員数		6			
A群	大津	打出病院		3	
		市立大津市民病院			
		大津赤十字病院			
		大津赤十字志賀病院			
		堅田病院			
		滋賀医科大学医学部附属病院			
		滋賀里病院			
		地域医療機能推進機構滋賀病院			
		瀬田川病院			
		ひかり病院			
	琵琶湖病院				
	琵琶湖大橋病院				
	琵琶湖中央病院				
	琵琶湖養育院病院				
	山田整形外科病院				
	大津FC				
	桂川レディースクリニック				
	湖南	近江草津徳洲会病院	○		
		草津総合病院	○		
		滋賀県立精神医療センター			
ひわこ学園医療福祉センター草津					
南草津野村病院					
南草津病院					
滋賀県立小児保健医療センター					
滋賀県立総合病院		○			
済生会守山市民病院					
済生会滋賀県病院					
湖南病院					
ひわこ学園医療福祉センター野洲					
市立野洲病院					
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院		6	
		公立甲賀病院	○		
		甲南病院			
		国立病院機構紫香楽病院			
		水口病院			
		生田病院			
		甲西リハビリ病院			
		医療生協こうせい駅前診療所			
		東近江	ウォーリス記念病院		
			近江八幡市立総合医療センター		○
	滋賀八幡病院				
	青葉病院				
	近江温泉病院				
	神崎中央病院				
	国立病院機構東近江総合医療センター		○		
	湖東記念病院				
	東近江敬愛病院				
	東近江市立能登川病院				
	日野記念病院				
	竜王町国民健康保険診療所				
	湖東診療所				
	永源寺診療所				
	東近江市立蒲生医療センター				
	弓削MC				
	湖東	彦根市立病院			
		彦根中央病院			
		友仁山崎病院			
		豊郷病院			
	湖北	市立長浜病院	○		
		セフィロト病院			
長浜赤十字病院		○			
長浜市立湖北病院					
中之郷診療所					
にしあざい診療所					
ケアセンターいぶき					
近江診療所					
浅井東診療所					
湖西	今津病院				
	高島市民病院	○			
	マキノ病院				
県外	京都府		7		
	大阪府		1		
	兵庫県		1		
	愛知県		1		
	県外計		10		
A群計			3		
B群計			6		
合計(A群+B群+県外)			19		

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

麻酔科

圏域	A群					B群		連携病院数	
	連携施設	大津			湖南	東近江			
		市立大津市民病院	大津赤十字病院	滋賀医科大学医学部附属病院	滋賀県立総合病院	近江八幡市立総合医療センター			
R3定員数	1	2	9	1	2				
A群	大津	打出病院						8	
		市立大津市民病院		○	○	○			
		大津赤十字病院	○			○			
		大津赤十字志賀病院							
		堅田病院							
		滋賀医科大学医学部附属病院							
		滋賀里病院							
		地域医療機能推進機構滋賀病院			○				
		瀬田川病院							
		ひかり病院							
		琵琶湖病院							
		琵琶湖大橋病院							
		琵琶湖中央病院							
		琵琶湖養育院病院							
		山田整形外科病院							
	大津FC								
	桂川レディースクリニック								
	近江草津徳洲会病院			○					
	草津総合病院			○					
	滋賀県立精神医療センター					○			
	ひわご学園医療福祉センター草津								
	南草津野村病院								
	南草津病院								
	滋賀県立小児保健医療センター			○					
	滋賀県立総合病院	○	○						
	済生会守山市民病院					○			
	済生会滋賀県病院			○					
湖南病院									
ひわご学園医療福祉センター野洲									
市立野洲病院									
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院						8	
		公立甲賀病院			○				
		甲南病院							
		国立病院機構紫香楽病院							
		水口病院							
		生田病院							
		甲西リハビリ病院							
		医療生協こうせい駅前診療所							
		ウオーリス記念病院							
	東近江	近江八幡市立総合医療センター							8
		滋賀八幡病院							
		青葉病院							
		近江温泉病院							
		神崎中央病院							
		国立病院機構東近江総合医療センター			○				
		湖東記念病院			○				
		東近江敬愛病院							
		東近江市立能登川病院							
		日野記念病院			○				
		竜王町国民健康保険診療所							
		湖東診療所							
	永源寺診療所								
	東近江市立蒲生医療センター								
	戸削MC								
	湖東	彦根市立病院			○				8
		彦根中央病院							
		友仁山崎病院							
		豊郷病院							
		市立長浜病院			○				
		セフィロト病院							
	湖北	長浜赤十字病院			○				8
		長浜市立湖北病院					○		
		中之郷診療所							
		にしあざい診療所							
		ケアセンターいぶき							
		近江診療所							
湖西	浅井東診療所						8		
	今津病院								
	高島市民病院			○					
県外	マキノ病院						8		
	京都府		3		1				
	大阪府		1		4				
	兵庫県		1						
	石川県				1				
	県外計		5		6				
A群計		2	2	6	2	2			
B群計				8		1			
合計(A群+B群+県外)		2	7	20	2	8			

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

病理

圏域		A群		連携病院数
		大津		
		連携施設	基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院
		R3定員数	2	
A群	大津	打出病院		4
		市立大津市民病院	○	
		大津赤十字病院		
		大津赤十字志賀病院		
		堅田病院		
		滋賀医科大学医学部附属病院		
		滋賀里病院		
		地域医療機能推進機構滋賀病院	○	
		瀬田川病院		
		ひかり病院		
	琵琶湖病院			
	琵琶湖大橋病院			
	琵琶湖中央病院			
	琵琶湖養育院病院			
	山田整形外科病院			
	大津FC			
	桂川レディースクリニック			
	湖南	近江草津徳洲会病院		
		草津総合病院	○	
		滋賀県立精神医療センター		
ひわこ学園医療福祉センター草津				
南草津野村病院				
南草津病院				
滋賀県立小児保健医療センター				
滋賀県立総合病院				
済生会守山市民病院				
済生会滋賀県病院		○		
湖南病院				
ひわこ学園医療福祉センター野洲				
市立野洲病院				
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院		6
		公立甲賀病院	○	
		甲南病院		
		国立病院機構紫香楽病院		
		水口病院		
		生田病院		
		甲西リハビリ病院		
		医療生協こうせい駅前診療所		
	東近江	ウォーリス記念病院		
		近江八幡市立総合医療センター	○	
		滋賀八幡病院		
		青葉病院		
		近江温泉病院		
		神崎中央病院		
		国立病院機構東近江総合医療センター	○	
		湖東記念病院		
		東近江敬愛病院		
		東近江市立能登川病院		
		日野記念病院	○	
		竜王町国民健康保険診療所		
	湖東診療所			
	永源寺診療所			
	東近江市立蒲生医療センター			
	弓削MC			
	湖東	彦根市立病院	○	
		彦根中央病院		
		友仁山崎病院		
		豊郷病院		
	湖北	市立長浜病院		
		セフィロト病院		
長浜赤十字病院		○		
長浜市立湖北病院				
中之郷診療所				
にしあざい診療所				
ケアセンターいぶき				
湖西	近江診療所			
	浅井東診療所			
	今津病院			
	高島市民病院			
県外	マキノ病院			
	大阪府	1		
	兵庫県	1		
	東京都	2		
		県外計	4	
		A群計	4	
		B群計	6	
		合計(A群+B群+県外)	14	

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

救急科

圏域		A群			連携病院数		
		大津		湖南			
		連携施設	基幹施設	大津赤十字病院		滋賀医科大学医学部附属病院	済生会滋賀県病院
R3定員数			2	6	4		
A群	大津	打出病院					
		市立大津市民病院				○	
		大津赤十字病院					
		大津赤十字志賀病院					
		堅田病院					
		滋賀医科大学医学部附属病院				○	
		滋賀里病院					
		地域医療機能推進機構滋賀病院					
		瀬田川病院					
		ひかり病院					
		琵琶湖病院					
	琵琶湖大橋病院						
	琵琶湖中央病院						
	琵琶湖養育院病院						
	山田整形外科病院						
	大津FC						
	桂川レディースクリニック						
	湖南	近江草津徳洲会病院					
		草津総合病院					
		滋賀県立精神医療センター					
		ひわご学園医療福祉センター草津					
		南草津野村病院					
		南草津病院					
		滋賀県立小児保健医療センター					
		滋賀県立総合病院					
		済生会守山市民病院					
済生会滋賀県病院			○				
湖南病院							
ひわご学園医療福祉センター野洲							
市立野洲病院							
B群		甲賀	甲賀市立信楽中央病院				
			公立甲賀病院			○	
	甲南病院						
	国立病院機構紫香楽病院						
	水口病院						
	生田病院						
	甲西リハビリ病院						
	医療生協こうせい駅前診療所						
	東近江		ウォーリス記念病院				
		近江八幡市立総合医療センター				○	
		滋賀八幡病院					
		青葉病院					
		近江温泉病院					
		神崎中央病院					
		国立病院機構東近江総合医療センター			○		
		湖東記念病院					
		東近江敬愛病院					
		東近江市立能登川病院					
		日野記念病院					
		竜王町国民健康保険診療所					
		湖東診療所					
		永源寺診療所					
	東近江市立蒲生医療センター						
	弓削MC						
	湖東	彦根市立病院					
		彦根中央病院					
		友仁山崎病院					
		豊郷病院					
	湖北	市立長浜病院					
		セフィロト病院					
		長浜赤十字病院	○		○		
		長浜市立湖北病院					
		中之郷診療所					
にしあざい診療所							
ケアセンターいぶき							
湖西	近江診療所						
	浅井東診療所						
	今津病院						
県外	高島市民病院	○					
	マキノ病院						
	京都府			3			
	兵庫県				1		
愛知県	1						
福岡県					1		
県外計		1		3	2		
A群計				1	2		
B群計			2	3	1		
合計(A群+B群+県外)			3	7	5		

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

形成外科

圏域		A群		連携病院数
		大津		
連携施設		基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院	
R3定員数		2		
A群	大津	打出病院		2
		市立大津市民病院		
		大津赤十字病院		
		大津赤十字志賀病院		
		堅田病院		
		滋賀医科大学医学部附属病院		
		滋賀里病院		
		地域医療機能推進機構滋賀病院	○	
		瀬田川病院		
		ひかり病院		
		琵琶湖病院		
		琵琶湖大橋病院		
		琵琶湖中央病院		
		琵琶湖養育院病院		
		山田整形外科病院		
		大津FC		
	桂川レディースクリニック			
	湖南	近江草津徳洲会病院		
		草津総合病院		
		滋賀県立精神医療センター		
		ひわこ学園医療福祉センター草津		
		南草津野村病院		
		南草津病院		
		滋賀県立小児保健医療センター		
		滋賀県立総合病院	○	
		済生会守山市民病院		
済生会滋賀県病院				
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院		
		公立甲賀病院		
		甲南病院		
		国立病院機構紫香楽病院		
		水口病院		
		生田病院		
		甲西リハビリ病院		
		医療生協こうせい駅前診療所		
		東近江	ウォーリス記念病院	
			近江八幡市立総合医療センター	
	滋賀八幡病院			
	青葉病院			
	近江温泉病院			
	神崎中央病院			
	国立病院機構東近江総合医療センター			
	湖東記念病院			
	東近江敬愛病院			
	東近江市立能登川病院			
	日野記念病院			
	竜王町国民健康保険診療所			
	湖東診療所			
	永源寺診療所			
	東近江市立蒲生医療センター			
	弓削MC			
	湖東	彦根市立病院		
		彦根中央病院		
友仁山崎病院				
豊郷病院				
湖北	市立長浜病院			
	セフィロト病院			
	長浜赤十字病院	○		
	長浜市立湖北病院			
	中之郷診療所			
	にしあざい診療所			
	ケアセンターいぶき			
	近江診療所			
浅井東診療所				
湖西	今津病院			
	高島市民病院			
マキノ病院				
県外	県外計		2	
A群計			2	
B群計			1	
合計(A群+B群+県外)			5	

令和3年度専門研修プログラムにおける連携施設の状況一覧

リハビリテーション科

圏域		A群		連携病院数
		大津		
		基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院	
		連携施設		
		R3定員数	2	
A群	大津	打出病院		2
		市立大津市民病院		
大津赤十字病院				
大津赤十字志賀病院				
堅田病院				
滋賀医科大学医学部附属病院				
滋賀里病院				
地域医療機能推進機構滋賀病院				
瀬田川病院				
ひかり病院				
琵琶湖病院				
琵琶湖大橋病院				
琵琶湖中央病院				
琵琶湖養育院病院				
山田整形外科病院				
大津FC				
桂川レディースクリニック				
A群	湖南	近江草津徳洲会病院		
		草津総合病院		
		滋賀県立精神医療センター		
		ひわこ学園医療福祉センター草津		
		南草津野村病院		
		南草津病院		
		滋賀県立小児保健医療センター	○	
		滋賀県立総合病院	○	
		済生会守山市民病院		
		済生会滋賀県病院		
		湖南病院		
		ひわこ学園医療福祉センター野洲		
市立野洲病院				
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院		
		公立甲賀病院	○	
		甲南病院		
		国立病院機構紫香楽病院		
		水口病院		
		生田病院		
		甲西リハビリ病院		
		医療生協こうせい駅前診療所		
		B群	東近江	ウォーリス記念病院
	近江八幡市立総合医療センター			○
	滋賀八幡病院			
	青葉病院			
	近江温泉病院			
	神崎中央病院			
	国立病院機構東近江総合医療センター			
	湖東記念病院			
	東近江敬愛病院			
	東近江市立能登川病院			
	日野記念病院			
	竜王町国民健康保険診療所			
	湖東診療所			
	永源寺診療所			
	東近江市立蒲生医療センター			
	弓削MC			
	B群	湖東	彦根市立病院	
			彦根中央病院	
			友仁山崎病院	
			豊郷病院	
	B群	湖北	市立長浜病院	
			セフィロト病院	
			長浜赤十字病院	
			長浜市立湖北病院	
			中之郷診療所	
にしあざい診療所				
ケアセンターいぶき				
近江診療所				
浅井東診療所				
B群	湖西	今津病院		
		高島市民病院		
		マキノ病院		
県外		県外計		
		A群計		2
		B群計		3
		合計(A群+B群+県外)		5

総合診療科

圏域	A群						B群			連携病院数
	大津						東近江	湖北	湖西	
	連携施設	基幹施設	滋賀医科大学医学部附属病院	地域医療機能推進機構滋賀病院	大津FC	弓削MC	浅井東診療所	高島市民病院		
	R3定員数		2	2	2	8	4	2		
A群	大津	打出病院								
		市立大津市民病院								
		大津赤十字病院							○	
		大津赤十字志賀病院								
		堅田病院								
		滋賀医科大学医学部附属病院		○						
		滋賀里病院								
		地域医療機能推進機構滋賀病院	○							
		瀬田川病院								
		ひかり病院								
		琵琶湖病院								
		琵琶湖大橋病院								
		琵琶湖中央病院								
		琵琶湖養育院病院								
	山田整形外科病院									
	大津FC									
	湖南	桂川レディースクリニック								
		近江草津徳洲会病院								
		草津総合病院								
		滋賀県立精神医療センター								
		ひわご学園医療福祉センター草津								
		南草津野村病院								
		南草津病院								
		滋賀県立小児保健医療センター								
		滋賀県立総合病院								
		済生会守山市民病院								
		済生会滋賀県病院					○			
湖南病院										
ひわご学園医療福祉センター野洲										
市立野洲病院										
B群	甲賀	甲賀市立信楽中央病院				○				
		公立甲賀病院								
		甲南病院								
		国立病院機構紫香楽病院								
		水口病院								
		生田病院								
		甲西リハビリ病院								
		医療生協こうせい駅前診療所	○							
		東近江	ウォーリス記念病院							
	近江八幡市立総合医療センター					○				
	滋賀八幡病院									
	青葉病院									
	近江温泉病院									
	神崎中央病院									
	国立病院機構東近江総合医療センター					○				
	湖東記念病院									
	東近江敬愛病院									
	東近江市立能登川病院									
	日野記念病院									
	湖東	竜王町国民健康保険診療所					○			
		湖東診療所					○			
		永源寺診療所					○			
		東近江市立蒲生医療センター								
		弓削MC								
		彦根市立病院					○			
		彦根中央病院								
		友仁山崎病院								
湖北	豊郷病院									
	市立長浜病院									
	セフィロト病院									
	長浜赤十字病院					○				
	長浜市立湖北病院					○				
	中之郷診療所					○				
	にしあさひ診療所					○				
	ケアセンターいぶき					○				
湖西	近江診療所					○				
	浅井東診療所	○		○						
	今津病院									
	高島市民病院									
県外	マキノ病院									
	京都府			2	1	1				
大阪府						1				
県外計				2	1	2				
A群計		1	1	2	1	2	1			
B群計		2	1	2	13					
合計(A群+B群+県外)		3	2	2	15	2	1			